

性同一性障害 初の認定医

GID（性同一性障害）学会は20日、東京都内で開いた総会で、心と体の性が一致しない人たちに適切な医療を提供する「認定医」9人を初めて決定したと発表した。今後も人材育成を進め、性別適合手術などに対する公的医療保険の適用につなげる考えだ。

理事長を務める中塚幹也・岡山大教授をはじめ、同学会の理事らから精神神経科、産婦人科、泌尿器科、形成外科を専門とする9人を選んだ。

学会9人決定 育成推進

研修を受けるほか、診療や研究で一定以上の実績があることを条件にした。医療だけでなく、学校や職場などで当事者が直面する幅広い問題に理解を持つ人材だとしている。

国内にはGID診療の拠点となる施設が少なく、保険も適用外のため、費用が安いとされるタイなどに渡航して手術を受ける人もいる。ただ手術後の対応をめぐるトラブルも起きており、国内の体制整備が求められている。